

# 薬剤師を目指す学びの流れ

前ページで説明した教育を実現するカリキュラムです。4年間で基本的知識と技能を固め、薬学共用試験でそれらを確認したら、5年生以後の実践的な学習に進みます。5年生に進むと、病院と薬局での実務実習に参加し、アドバンスト科目群で先端の専門知識を学びつつ、卒業研究に取り組みます。実務実習は5ヶ月間で、その間は卒業研究を中断しますから、卒業研究期間は実質1年間です。これらの課程を修了して卒業すると、薬剤師国家試験の受験資格が与えられます。

	イントロダクション	物理系薬学	化学系薬学	生物系薬学	健康と環境	医療薬学	実習・演習科目	ヒューマニズム	情報科目 外国語
1年	薬学への招待、医療倫理、医療の担い手、初期演習など	薬学の基礎としての物理学、数学 化学平衡、物質の構造、物質の變化、溶液の性質など	薬学の基礎としての化学、有機化学の基礎、有機化合物の骨格と性質、スペクトル構造解析、有機化合物の合成など	薬学の基礎としての生物学、生命体の基本単位、細胞の仕組み、小さな生命体、生命活動を担うタンパク質、生体エネルギーなど			薬剤師の活躍分野を見る		基礎薬学英語、薬学ドイツ語、基礎情報など
2年		物質の状態、化学物質の検出と定量、分析技術の臨床応用、生体分子の化学など	薬となる植物、自然が生み出す薬用資源、薬としての天然物、創薬化学入門など	遺伝情報を担う遺伝子、遺伝子操作、身体を守る免疫系、感染症など		ヒトの成り立ちと機能調節、生体の機能調節と情報伝達、薬の作用、薬の働き方など	有機化学系（有機化合物を作る、医薬品を作る、生薬・天然物医薬品を取り扱う） 物理・分析系（物質の特性を調べる、物質を解析する） 衛生薬学実習	生物系（生体成分と免疫を調べる、小さな生命体と遺伝子を調べる） 薬理系（体の成り立ちと働きを調べる、薬の働きを調べる）	
3年					栄養と健康、疾病予防と疫学、生活環境と健康、化学物質の生体への影響など	薬物動態の解析、薬物の臓器への到達と消失、生物統計の臨床応用、製剤化のサイエンス、医薬品の開発など	薬剤学実習 プレファーマシー実習	疾病と薬物治療、薬剤師に関する法律、医薬品情報の活用など	
4年							病院・薬局に行く前に		
薬学共用試験（病院と薬局での実務実習に参加できる基礎能力を確認します）									
5年			化学系アドバンスト科目	生物系アドバンスト科目	衛生系アドバンスト科目	医療薬学アドバンスト科目群	実務実習		
6年							卒業研究		
総合演習									

共通教育科目（薬剤師にとって大切な2年間に入身を身につける科目群です）  
250科目以上ある科目群から選択できます。時間割には2年までに配当されますが、空き時間があれば、在学中はどの学年でも受講できます。

## 薬剤師国家試験